

～導入事例紹介～

- exiida Case Study -



exiida

遠隔監視・予兆診断

Remote Monitoring / Predictive Diagnostics



新築

分野

卸売市場

お客様名 高山市公設地方卸売市場様／岐阜県

冷凍・空調機器を24時間遠隔監視して 生鮮品の品質維持体制を大きく改善。

高山市公設地方卸売市場様は、その開設から実に半世紀以上にわたって、飛騨地域における生鮮品の流通を支え続けてこられました。今回、隣接地への新市場建築に合わせて、施設の運営・管理を担う株式会社飛騨高山市場様は冷凍・冷蔵設備や管理システムも一新。「exiida 遠隔監視・予兆診断」の導入で24時間設備の遠隔監視体制を整えたことにより、生鮮品の品質管理効率が大幅に向上しました。

*取材／2025年9月



お客様の要望



株式会社飛騨高山市場
常務取締役 竹下信之様

異常時にも迅速に対応して、生鮮品の品質低下を防ぎたい。

市場ではさまざまな青果物や水産物を取り扱っているため、もし何かのミスや不具合で冷凍庫や冷蔵庫内の温度が上昇してしまうと、品質の低下に直結してしまいます。それを避けるために、異常が発生したら即座に通報が行われて対処につなげられる機能が必要でした。

深夜に発生した異常の状況を正確に把握して、適切に対応したい。

市場の開場は午前3時で、保守点検を依頼している飛騨冷凍空調（株）の始業は午前8時から。万が一、深夜に設備の異常が発生していても、従来はいつ何があったかを細かく知ることが困難でした。今回の設備リニューアルで、こうした異常が起きても状況把握と対応を適切に行いたい思いがありました。

SOLUTION!



販売店様の提案



飛騨冷凍空調株式会社
美登賢史朗様

提案 1

24時間、設備の遠隔監視ができる強みを提案。

市場の新築計画が立ち上がった当初から、冷凍機および庫内温度異常の通報設備について協議していました。そんな折に、「exiida 遠隔監視・予兆診断」を知り、その利便性の高さに魅力を感じてお客様に提案いたしました。24時間の設備の遠隔監視ができる点が好評で、導入を前向きに検討いただきました。

提案 2

チーム全員で管理意識を高める体制への転換。

導入に際して、施設運営者の（株）飛騨高山市場様にも「保守管理チーム」の一員になっていただきたいというお願いをしました。「exiida 遠隔監視・予兆診断」で設備状況を一目瞭然で確認できるため、一人ひとりの管理意識を高めることでさらなる品質維持につながると提案。現在もチーム全員で管理しているという意識で、スムーズな対応ができています。

成果・サポート

異常発生時にも、即時通報によって迅速な対応が可能に。

霜取りで庫内のファンを止めた際、再始動を忘れて警報が鳴ったことが2回ほどあったものの、即時通報のおかげですぐに対応でき、以後は何事もなく運用できています。今は運用にも慣れてきて、お客様からもポジティブな反応をいただいています。

DX化で点検業務が大きく効率アップ。

従来は当社の担当者が1日3回ほど市場に赴いて温度点検をしていましたが「exiida 遠隔監視・予兆診断」の導入後は定期的な現地訪問が不要に。日常点検のDX化によって劇的な業務効率化を実現しました。

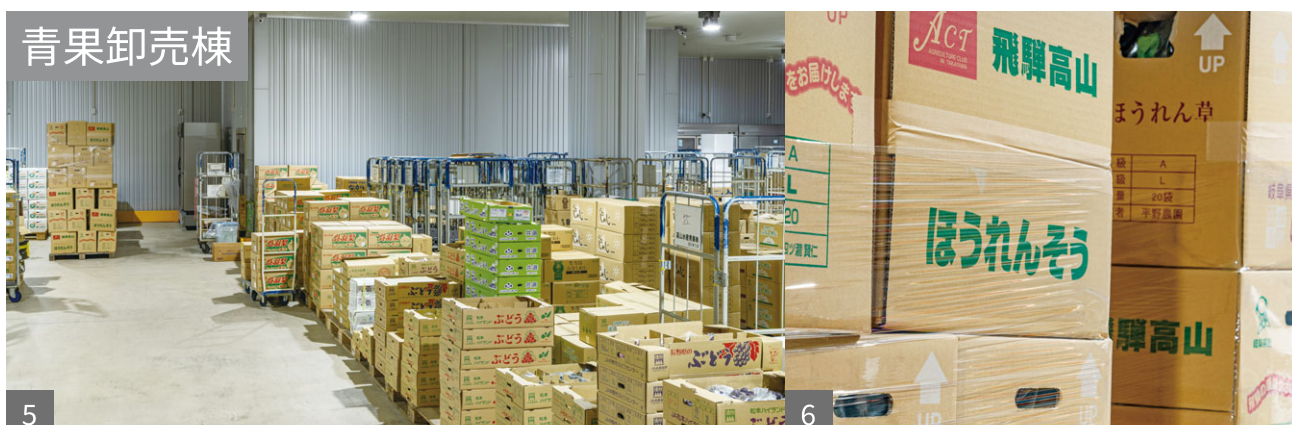
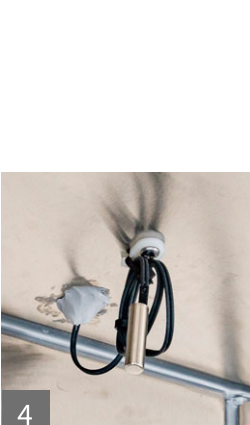
日立関係者がサポートしてくれる安心感。

たとえエラーが出ても日立関係者がサポートしてくれるため、疑問点などもすぐに聞けるのは安心感があると感じます。

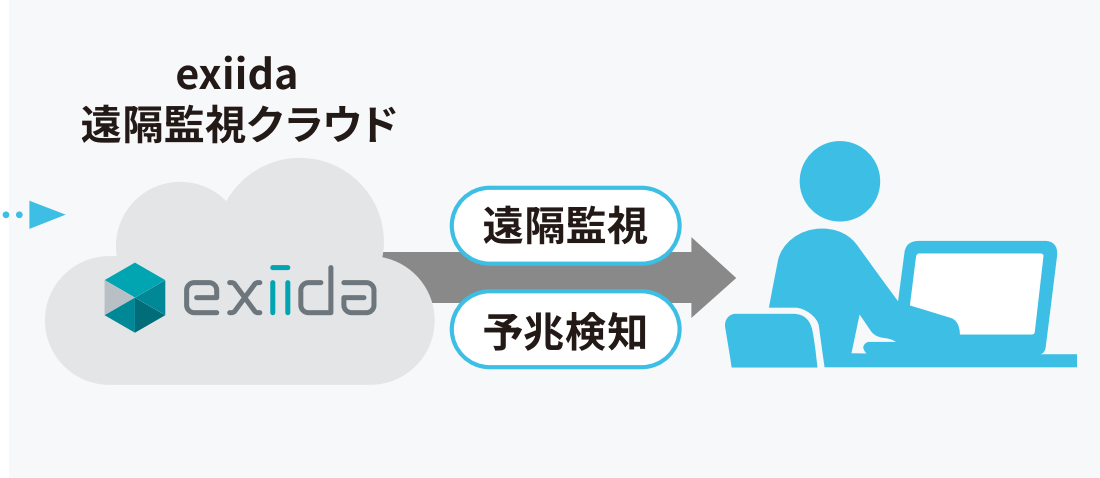
屋外



屋内



exiida 遠隔監視通信ユニット



1 2 市場には13台の「スクロール冷凍機」を設置しており、それらの室外ユニットは市場屋上の東西2箇所のスペースに配置されている。3 水産物の保管を行う冷蔵庫。庫内はマイナス5℃の温度設定で24時間監視され、設定温度よりも10℃上回った状態が1時間続くと自動的に警報が発せられる。マイナス5℃設定の冷蔵庫は2つあり、このほかマイナス25℃で設定された2つの冷凍庫にもスクロール冷凍機が設置され温度を監視されている。4 それぞれの棟にはセンサーが取り付けられており、exiida 遠隔監視通信ユニットに接続している。5 6 地元で収穫された新鮮な野菜をはじめとする、多様な青果物の保管を行っている冷蔵庫。設定温度である10℃よりもさらに10℃上回った状態が1時間続くと警報が発報されるように常時監視されている。